

令和7年度第1回下関市子ども・子育て審議会 会議録(概要)

日時:令和7年8月28日(木)10:00～12:00

会場:下関市役所本庁舎西棟5階大会議室

委員:穂山 陽介委員、中野 暁音委員、山尾 凌太委員、寺本 明生委員、田中 浩二委員、中川 浩一委員、横尾 和憲委員、山本 正俊委員、横山 眞佐子委員、中原 菊江委員、宮川 雅美委員、零石 桂一委員、今井 真弓委員、中野 恵子委員

事務局:栗原こども未来部長、嶋津理事、大園部次長、齋藤参事(幼児保育課長)、峰岡子育て政策課長、岩田課長補佐、迫田支援政策係長、吉竹放課後保育係長、谷山幼児保育課長補佐、濱野課長補佐、富田主査、内村主査、中川主査、福田こども家庭支援課長、福永課長補佐、林学校教育課生徒指導推進室長、本多室長補佐

資料:審議会次第、委員名簿及び座席表、資料1 下関市子ども・子育て審議会について、“For Kids”プラン2025(冊子及び概要版)、“For Kids”プラン2020 令和7年度版実施状況、“For Kids”プラン2025 進捗管理表(案)、令和7年度6月補正予算の概要(抜粋)、子育て支援のしおり

議事:

○委員過半数の出席により会議成立

○委嘱状の交付(席上配布)

○会長、副会長の選任

委員の推薦により横山委員会長選任、会長推薦により宮川委員副会長選任

○“For Kids”プラン 2025 の実施事業について

(事務局説明)

”For Kids”プラン2025は「こどもまんなか地域でつながり支え合いみんなで育てるまち下関」を基本理念とすること、こども基本法に基づく本市のこども計画(子ども・子育て支援法に基づく子ども・子育て支援事業計画を初めする5つの計画を含む)、計画期間は令和7年度から11年度までで、本編と、資料編で構成。

プランの基本理念以下、基本姿勢、基本目標、施策目標の体系に沿って、5ヵ年で推進するもので、各種の施策を推進していくことによって、計画の成果指標の達成を目指す。最重要施策としては小中学校の給食の無償化、こども医療費助成の拡充、旧第1幼稚園跡地を活用した世代交流型総合施設の整備に向けた周辺環境整備など。

計画を着実に実行し、掲げた目標を達成するためには、その過程における点検として、評価が重要。進捗管理表案にて実施予定。

(質疑応答)

委員：こ幼保小連携の状況、責任者は？

事務局：川中地区でモデル的に仕組みを検討。

事務局：全部の小学校で、コミュニティスクール、学校運営協議会で定期的に幼稚園保育園を含んだ各関係者が集まって協議している。

事務局：小学校の校長、小学校が中心となる。地域をまたぐ場合は市内の校長会で情報共有をしていただく。

委員：こども誰でも通園制度のプラン中の扱いや具体的な進捗を。

事務局：今年度はまだ試行的事業で、来年度本格実施。国の通知も毎月、様々な改正等があり、それに対応している。令和8年の2月議会で、こども誰でも通園制度の基準条例を議案に提出し、4月からの施行の予定。試行的事業を含めて準備を進め、必要な基準について要望を踏まえ整理しているところ。

委員：プランや審議会におけるこどもの定義は？

事務局：法律によりこどもの対象年齢が異なる。プランでは、大人として円滑な社会生活を送ることができるようになるまでの成長の過程にある者を意味し、年齢による定義はないとしている。

委員：支援やサービスの量を増やしていくには、サービスの効率化やマンパワー必要になってくるが、プランへの落とし込みや考え方はどうか？

事務局：施策の1つとしてプランに落とし込んでいるが、手だてとしての労働力の確保、マンパワーの確保はなかなか難しい。全国的な問題。保育士のマッチングアプリなど、地道に取り組んでいく。

委員：その手だての1つとして、配置基準や有資格無資格の役割など仕組みの変更についても検討を。

委員：市内の保育士養成校と行政の連携について。

事務局：毎年、リクルート活動でお願いしているところ。市内で働く保育士の働き方を改善し市内での就職が増えるよう努力をしている。

委員：保育士志望を増やすため、小中高での職業講話や赤ちゃんふれあい体験事業などの取組も大切。

委員：支援やサービスの窓口の周知について。

事務局：いろいろ相談窓口があり、わかりにくいですが、困ったときはこども家庭センターへ。

委員：保育への求められることとして量とともに今、質が求められる。実際の保育園などで、市に求めるものは？

委員：質を上げる基準はないが、資格を取って保育士になるハードルは高い。研修のあり方だが、研修が資質向上につながるものであるか疑問を感じる。

委員：保育士の配置基準が、3歳児であれば20:1か15:1に広がっている。質を落とすという話ではなく、保育士が専門性をもってやる仕事と、資格がなくてもで

きる仕事とを分ける。今まで保育士が掃除していたところを子どもや保護者に向かっていくとなれば、質を確保できるという話である。

委員：施設の古い新しいというのも1つ園を選定するポイントになる。清掃の状況も。先生の連絡の対応、英語であったりオプションの教育、お迎え時の他の子への先生の様子や対応。担任との信頼関係。担任の先生以外の周りの先生の対応など。今日は、この子はこんなことしてたよ、とか教えていただける。いろんな方に相談に乗っていただける安心して通える。

○その他 次回は来年2月に審議会の開催を予定。